

自己資本

〈自己資本の構成及び充実度〉

自己資本の構成は、以下のとおりであります。

なお、自己資本比率は、「持株自己資本比率告示」に定められた算式に基づき、連結ベースについて算出しております。

信用リスク・アセットの額は、先進的内部格付手法を用いて算出しております。また、オペレーショナル・リスク相当額は粗利益分配手法、マーケット・リスク相当額は標準的方式を用いて算出しております。

■連結自己資本比率（国内基準）

（単位：百万円、％）

項目	2017年9月末	経過措置による 不算入額	2018年9月末	経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目				
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	1,426,086	/	1,606,880	/
うち、資本金及び資本剰余金の額	△49,527	/	50,472	/
うち、利益剰余金の額	1,506,379	/	1,585,570	/
うち、自己株式の額(△)	5,696	/	4,769	/
うち、社外流出予定額(△)	25,069	/	24,392	/
うち、上記以外に該当するものの額	—	/	—	/
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	△31,543	/	△31,843	/
うち、為替換算調整勘定	△3,883	/	△4,548	/
うち、退職給付に係るものの額	△27,659	/	△27,294	/
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	—	/	—	/
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	1,570	/	114,872	/
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	34,078	/	45,145	/
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	4,355	/	30,929	/
うち、適格引当金コア資本算入額	29,723	/	14,216	/
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	100,000	/	—	/
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	150,927	/	117,513	/
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	/	—	/
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	20,187	/	16,883	/
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	13,810	/	122,418	/
コア資本に係る基礎項目の額	(イ) 1,715,118	/	1,991,871	/
コア資本に係る調整項目				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)の額の合計額	15,595	10,397	25,844	6,461
うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	—	—	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額	15,595	10,397	25,844	6,461
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	871	581	9,322	2,330
適格引当金不足額	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	4,739	—	784	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—	—	—
退職給付に係る資産の額	7,482	4,988	15,848	3,962
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	393	262	829	207
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
コア資本に係る調整項目の額	(ロ) 29,082	/	52,630	/
自己資本				
自己資本の額((イ)-(ロ))	(ハ) 1,686,035	/	1,939,240	/

(単位：百万円、%)

項目	2017年9月末	経過措置による 不算入額	2018年9月末	経過措置による 不算入額
リスク・アセット等				
信用リスク・アセットの額の合計額	12,871,391	/	17,823,195	/
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	62,178	/	57,262	/
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	10,397	/	6,461	/
うち、繰延税金資産	581	/	2,330	/
うち、退職給付に係る資産	4,988	/	3,962	/
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△18,570	/	△18,570	/
うち、上記以外に該当するものの額	64,782	/	63,078	/
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	76,593	/	96,739	/
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	984,616	/	1,147,495	/
信用リスク・アセット調整額	610,377	/	—	/
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	/	—	/
リスク・アセット等の額の合計額	(二) 14,542,978	/	19,067,430	/
連結自己資本比率				
連結自己資本比率((八)/ (二))	11.59	/	10.17	/

当社は、「自己資本比率算定に関する合意された手続による調査業務を実施する場合の取扱い」(日本公認会計士協会業種別委員会実務指針第30号)に基づき、2018年3月末連結自己資本比率の算定に関し、EY新日本有限責任監査法人による外部監査を受けております。なお、本外部監査は、会社法等に基づく会計監査の一部ではありません。本外部監査は、当社及び監査法人の間で合意された手続に基づき、当社が必要と認めた自己資本比率の算定に係る内部管理体制の一部について、監査法人が調査の上、当社にその結果を報告するものであり、自己資本比率そのものや自己資本比率の算定に係る内部統制について意見を表明するものではありません。

■信用リスクに対する所要自己資本の額

(単位：百万円)

	2017年9月末	2018年9月末
信用リスクに対する所要自己資本の額(内部格付手法が適用される株式等エクスポージャー及びみなし計算が適用されるエクスポージャーに関連するものを除く)	845,814	1,206,782
標準的手法が適用されるポートフォリオ(注1)	39,885	421,713
内部格付手法が適用されるポートフォリオ(注2)	801,183	782,204
事業法人向けエクスポージャー(除く特定貸付債権)(注3)	516,400	538,217
事業法人向けエクスポージャー(特定貸付債権)	19,641	20,609
ソブリン向けエクスポージャー	6,424	6,066
金融機関等向けエクスポージャー	13,220	10,750
居住用不動産向けエクスポージャー	151,227	121,402
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	6,617	6,339
その他リテール向けエクスポージャー	50,192	47,576
購入債権	18,549	12,403
その他内部格付手法が適用されるエクスポージャー	18,908	18,838
証券化エクスポージャー	4,745	2,863
内部格付手法が適用される株式等エクスポージャーに係る信用リスクに対する所要自己資本の額	69,750	81,665
マーケット・ベース方式(簡易手法)	11,485	25,856
マーケット・ベース方式(内部モデル手法)(注4)	—	—
PD/LGD方式	46,284	43,798
他の金融機関等の資本調達手段のうち普通株式等以外のものに係るエクスポージャー	11,980	12,009
その他	0	0
信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関連する信用リスクに対する所要自己資本の額	78,664	90,729
CVAリスクに係る所要自己資本の額	4,452	5,866
中央清算機関関連エクスポージャーに係る所要自己資本の額	859	705
特定項目のうち、調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	25,195	35,525
経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	4,974	4,580
フロア調整	48,830	—
計	1,078,541	1,425,855

- (注) 1. 標準的手法が適用されるポートフォリオの所要自己資本の額は、「信用リスク・アセットの額×8%」により算出しております。
 2. 内部格付手法が適用されるポートフォリオの所要自己資本の額は、「スケーリング・ファクター考慮後(×1.06)の信用リスク・アセットの額×8%」により算出しております。
 3. 「事業法人向けエクスポージャー(除く特定貸付債権)」には、中堅中小企業向けエクスポージャーが含まれております。
 4. 当社では、内部モデル手法を採用しておりません。

■マーケット・リスクに対する所要自己資本の額

(単位：百万円)

	2017年9月末	2018年9月末
標準的方式	6,127	7,739
金利リスク	2,543	4,563
株式リスク	—	—
外国為替リスク	308	170
コモディティ・リスク	—	—
オプション取引	3,275	3,006

(注) マーケット・リスク相当額を8%で除した額に8%を乗じて算出しております。

■オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額

(単位：百万円)

	2017年9月末	2018年9月末
粗利益配分手法	78,769	91,799

(注) オペレーショナル・リスク相当額を8%で除した額に8%を乗じて算出しております。

■連結総所要自己資本額

(単位：百万円)

	2017年9月末	2018年9月末
連結総所要自己資本額	1,163,438	1,525,394

- (注) 1. 自己資本比率算出上の分母の額に8%を乗じて算出しております。
 2. 当社は国内基準行ですが、内部格付手法を採用しているため、8%を乗じて算出しております。